

# 神戸市子ども SOZO プロジェクト

## 運営・企画業務 委託仕様書

### 1. 事業目的

---

神戸市は、神戸の資源や魅力をデザインの視点で見つめなおし、新たな魅力と活力の創出を促進する都市戦略「デザイン都市・神戸」を推進している。

本事業は、神戸市内を中心とする企業や工場から出た廃材を活用して、子どものソウゾウ（創造と想像）力を育み、未来のデザイン都市の担い手を育てることを目的とする。また、子どものソウゾウ（創造と想像）力を育むことを中心としつつ、廃材提供者や市民サポーター、子どもの家族、クリエイターなど、様々な人々による廃材の受渡しと利活用を通じたネットワークの形成を目指す。

### 2. 委託業務の内容

---

#### (1) 主に神戸市内の事業者から収集した廃材を活用する

子ども向けワークショッププログラムの運営・企画業務

##### ① 廃材収集（委託期間中に 4 回以上）

神戸市との連携の下、主に神戸市内の企業・工場・店舗等から、ワークショップの材料となる廃材を収集する。

##### ② 廃材整理（委託期間中に 4 回以上）

集めた廃材を、子どもたちの興味が湧くよう美しく、また安全に使用できるよう分類・整理し、「3. 業務履行場所」に保管する。

##### ③ 子ども向けワークショッププログラムの企画

上記①②で収集・整理を行った廃材を用い、子ども（主に幼児から中学生まで）向けワークショッププログラムを企画する。

企画に際しては、参加者に対して「廃材を通じた神戸のまちへの理解」や「資源のアップサイクルへの理解」を促す内容とするよう留意すること。

また、廃材提供者や市民サポーター、子どもの家族、クリエイター、デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）施設管理者（指定管理者）などとの連携・協力のネットワークづくりを意識した企画とすること。

##### ④ 子ども向けワークショップの実施

毎月第 2 土曜とその翌日の日曜の 2 日間を定例の開催日と定め、子ども向けワークショップを実施する。ただし、4 月の実施は必須ではない。

また、以下のワークショップを必ず実施する。

・「KIITO マルシェ」に合わせたデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）内でのワークショップ（平成 30 年 6 月予定）

・こうべ環境未来館での出張ワークショップ（平成 30 年 8 月 7 日）

なお、受託事業者だけでなく、市民サポーター等との連携・協力により実施すること。

##### ⑤ 廃材保管場所の開放

市民が気軽に訪れることができるよう、上記②③の業務を実施する日には「3. 業務履行場所」の廃材保管場所を一般に開放し、訪れた人に対して本事業の理解を促す。

- ⑥ その他、応募者独自の提案事業の実施  
※実施は必須ではないが、委託者選定の審査対象とする。

## (2) 市民サポーターの活動支援及び連絡・調整業務

- ① 市民サポーター向け研修の実施  
上記(1)の業務実施にあたり、ワークショップ等のサポートを行うボランティア（市民サポーター）に対し、本事業の理解を促し、子どものソウゾウ性を育む活動をサポートするために有益な研修を行う。
- ② 連絡・調整業務  
市民サポーターにスケジュールの連絡を行い、出勤日程等の調整（シフト管理）を行う。また、活動に際し必要となる、ボランティア活動保険の加入並びに保険料の負担及び、各市民サポーターへの活動報酬（交通費相当）の支払い等の事務を行う。
- ③ その他、市民サポーターが前向きに活動するために必要なサポート

## (3) その他上記(1)(2)に付随して発生する業務

- ① 神戸市との打合せ・業務報告等（月1回程度）
- ② 神戸市が行う広報、アンケート収集への協力
- ③ デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）施設管理者（指定管理者）との連携、連絡・調整

### 3. 業務履行場所

---

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）2階 こども SOZO ハイザイランド  
※ただし、廃材収集や出張ワークショップ等の実施にあたっては、履行場所は神戸市内とする。

### 4. 委託期間

---

平成30年4月1日（予定）～平成31年3月31日

### 5. 委託料（上限）

---

1,701,000円（消費税含む） （大まかな内訳）	
企画・運営にかかる費用	367,200円
ワークショップ実施費用	1,144,800円
市民サポーター調整・サポート等にかかる費用	189,000円

#### <参考> 本事業実施にあたり神戸市が主体となり実施する内容

- 1) ワークショップ参加者の申込み受付、名簿作成
- 2) ワークショップ参加者の行事用保険加入
- 3) 広報・ホームページでの情報発信
- 4) ワークショップ参加者に対するアンケート実施